

美術科 年間指導計画（1年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力							現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力								
		<言語能力>							<自分づくり>								
美術科と関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力							豊かな表現を工夫する力 考えの妥当性や信頼性を吟味する力								
学習指導要領における目標		・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。															
月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計				
1年		美術との出会い P2-4 よこそ美術の学びへ P6-7	絵や彫刻との出会い P10-11	見つめて、感じて、描いて P12-13 どんなふうにかきたい？ P62 色彩の基本・仕組み P70-72	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P16-17	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9	なぜか気にな 鑑賞との出会い P9			
配当時間		1	1	6	6	1	1	1	4	1	1	4	6	1	5	6	45
知識及び技能		【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。 【造形遊びをする活動の技能】 制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。 【技能】 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ・材料や用具の特徴などから制作の順序などを考えながら、見直しをもって表すこと。															
思考力、判断力、表現力等		【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。 【絵画・彫刻】 ア 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに構想を練ること。 【デザイン・工芸】 ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 ウ 使う目的や条件などを基に、使用するものの気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 【美術作品に関する鑑賞】 ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて、考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 イ 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】 ア 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 イ 身近な地域や日本および諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げること。															
学びに向かう力、人間性等		・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。															
内容（キーワード・授業展開の卵）		見かたを変えて発見する ・3年間の流れの把握	身近な小さなもの（シャーペン、筆記具、紙切れ）を見つめていないに描く	・写真を撮る 取捨択一 見ながら表現する ・ハッチングなどで質感や明暗を表現 ・水彩で描く パレット・筆・筆洗・技法	・撮影→ス ケッチ→理由 (2つの遠 近法(線・空 気))	・感じたことを 言葉で 思いを読み 取る	・原始表現の 迫力と生命 力	・用の美 飾る 伝える 使う	・テーマから発 想して整理す る	・らせん ハ カム 組子 自然の造形 美	・学びの姿勢 を学ぶ マッピング アイデアスケ ッチ テーマ決め 方向転換	・デザインの工夫と印象の違い 明朝・ローマン 絵文字とロゴタイプとオノマト ペ	・土の特性と作品の手触り ・道具 工程 成形の種類 施釉	・屏風という形と用途を生かしたデザイン 風神雷神図屏風 俵屋宗 達 燕子花園 尾形光琳	・模様のルーツ 植物や自然界の物をどの ように変化させたのか ・単位形と並べ方	・あるがままの形から自由に 発想する 特徴を生かす	
単元目標・到達目標		見慣れた作品を鑑賞して、その作家の作風や自然を見つめるまなざしに触れることにより、美術へのオリエンテーションとする	3年間の学びの説明	身近なもの愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。	見慣れた情景の気になる場所やものを見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫して絵で表現する。	見かたや感じ方を広げ、深めるために、作品から感じ取ること、生活の中の形や色彩から感じ取ること、美術文化や伝統から学ぶこと	形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始的な造形的なよさや美しさ、人々の思いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。	3年間でどのような資質・能力が得られるかが示されている。デザイン・工芸には「飾る」「伝える」「使う」の3つの目的や機能があること。	伝えたい内容やイメージを基に、象徴するものや形、色彩の効果を考え、材料や用具などを工夫してマークをデザインする。	自然物を発想の源としてつくられたものや自然の造形を生かした建築の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中での美術の働きを理解する。	イメージや伝えたい内容が、相手にわかりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。	土が持つ素材のよさを生かし、用途や機能と美しさなどを考え、土の生かし方や用具などを工夫し焼き物を作る。	屏風の表現のよさや美しさ、折ることで生まれる立体感や見え方の変化を感じ取るなどして見方や感じ方を広げる。	目的や条件などを基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉えて構成を工夫してデザインする。	材料の形や色彩、質感などからイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体で表す。		

美術科 年間指導計画 (2年)

2026/6/12

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		＜言語能力＞						＜自分づくり＞					
美術科に関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力		豊かな表現を工夫する力		自分らしさを発揮しようとする姿勢		夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢					
		伝え合うことで自分の考えを深化させる力		考えの妥当性や信頼性を吟味する力		伝え合うことで自分の考えを深化させる力							
		目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力		さまざまな情報を活用・選択する力									
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。											
	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
2年	学びの実感と深まり 上2-4 あなたの美の見つけて 上5-7 教科書の使い方 上8	自由な視点で風景を見つめる 上14-15	日本の伝統色 上62 色彩の特徴を深く知る 上63	日本の技と心を受け継いで 上32-35 受け継ぐ伝統と文化 下58	浮世絵っておもしろい 上24-29 北斎の大波 上56	つくる・使う・材料を味わう 芸 上44-45	思いが飛び出すカード 上36-37	瞬間の美しさを形に 上10-11 人物を作る 上56	なんでこれが美術なの？ 上22-23 あなたの美を見つけて 上5 岡本太郎* 芸術はみんなのもの* 上50	ひと目で伝わるみんなのデザイン 上40-41 色彩の特徴を深く知る 上63	動きて伝えるメッセージ 下42-43	動画で表現する 下52-53	標準授業時数：35h
配当時間	1	5	2	5	1	1	3	7	1	6	2	1	35
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	<p>【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【造形遊びをする活動の技能】 制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。</p> <p>【技能】 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表すこと。</p>											
	思考力、判断力、表現力等	<p>【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【絵画・彫刻】 ア 対象や事象を深く見つめ感じ取ったこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p> <p>【デザイン・工芸】 ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会とのかかわりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 使う目的や条件などを基に、使用するもの立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>【美術作品に関する鑑賞】 ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】 ア 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>											
	学びに向かう力、人間性等	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。											
内容（キーワード授業展開の卵）	・実物大の作品から表現の本質をつかみ取る ・美を発見するよるこび	・視点の変化と印象の違い	・材料や技法の特徴と作品の形や使用方法とのつながり 接合 打ち出して切って曲げる 風神雷神図屏風 俵屋宗達 紅白梅図屏風 尾形光琳	・伝統工芸の技と心 南部鉄器のアラレ 草木染め 織り ・江戸時代の版画 版元→絵師 →彫り師→摺師	・日本とヨーロッパ	・光の効果、演出 自然の光 人工の光	・動勢の美	・意外さ 新たな価値観 ・パブリックアート ・生き続けることと芸術表現	・サインデザイン ビクトデザイン 視覚伝達	・コマ撮り作品の鑑賞 ・フレームレートと印象	・企画、台本の制作 ・撮影、編集		
単元目標・到達目標	普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。	材料の特性や機能性を生かして作ることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などをとくに主題を生み出し、材料や用具の特性を生かして、見直しを持ってデザインし表す。	工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。	浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	ジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉えね表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	光や影の効果を生かしたデザインに関心を持ち、空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出し、光の形や色彩の変化、空間に与える印象などを捉え、見直しをもってデザインし表す。	瞬間の人の動きに関心を持ち、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じ、躍動感などを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体で表す。	現代美術に関心を持ち、もの場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。	ビクトグラムのデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場所などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見直しを持ってデザインし表す。	・印象に残る動画には、どんな工夫がされているのか ・構図や構成などによるイメージの変化や効果に着目し、意図に沿って撮影したり編集したりする			

美術科 年間指導計画（3年）

2026/6/12

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		<言語能力>						<自分づくり>					
美術科と関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力 豊かな表現を工夫する力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 考えの妥当性や信頼性を吟味する力 目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力						自分らしさを発揮しようとする姿勢 夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 さまざまな情報を活用・選択する力					
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。											
	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
3年	学びの探求と未来 下2-4 社会に生きる美術の力下5-7 教科書の使い方	あの日を忘れない 下24-29	空想の中の不思議な世界 下16-19	受け継ぐ伝統と文化 下58 (仏像の種類/美術文化の継承 下56)	仏像の姿に見る人々の折り下32-33 (仏像の種類/美術文化の継承 下56)	自分を表現する色 下38-39	日本の世界文化遺産 下57	わたし自身を見つめて下9-13	さまざまなアートに触れよう 下48-51	魅力を伝えるパッケージ 下40-41 色彩の特徴を深く知る 上63	デザインで地域を豊かに 下44-45	あなたへ 明日への巣立ち 下60	標準授業時数：35h
配当時間	1	2	7	1	2	4	1	7	1	3	5	1	35
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【造形遊びをする活動の技能】制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。</p> <p>【技能】材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表すこと。</p>											
	思考力、判断力、表現力等	<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【絵画・彫刻】ア 対象や事象を深く見つめ感じ取ったこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p> <p>【デザイン・工芸】ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会とのかかわりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 使う目的や条件などを基に、使用するもの立場、社会との関わり、機能やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>【美術作品に関する鑑賞】ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】ア 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>											
	学びに向かう力、人間性等	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。											
内容（キーワード授業展開の卵）	・サグラダファミリア 美の探求 ・本物を見極める力 ・より自分らしい表現を目指して	・忘れてはいけない出来事を描きとめる	・表したいイメージをアイデアスケッチや言葉を使いまとめる	・その地方の伝統的な材料や技法	・人々の折りの姿 ・様式美	・身にまとうものの色彩効果 ・染色技法 ・絞り ステンシル スタンプ	・社会人として基礎知識 ・誇り	・中3の時間を描きとめる ・自分との対話時間	・空間を共有する美術作品	・包装紙や包装容器を装飾する 商品や中身との関連性 ・色相による配色 トーンによる配色 ほか	・遊び心と温かみ	・学びを次につなげていく	
単元目標・到達目標	絵に込められた作者の訴えたいことなどに関心をもち、造形的な美しさを感じ取り、社会における美術の力について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	空想や夢、心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。	地域の特色を取り入れたデザインの工夫やその世界観を感じ取り、デザインが社会に果たす役割などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。	顔や手の表情がもたらす効果にによる全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特徴よさ美しさに関心をもち、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	染色の技法を生かして表現することに関心をもち、使う場面飾る場面から主題を生み出し、形や色彩、染色の技法効果を考えて、材料や用具の特性を生かし自分の表現方法を追求してデザインする。	自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵や立体に表現する。	伝える目的や条件、中身のイメージなどから主題を生み出し、意図に応じて表現方法を創意工夫してデザインする。	使う人への気持ちや場面、楽しさなどから主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし見直しを持って創造的に表す。					

美術科 年間指導計画 (橘中学校)

2026/6/12 印刷

月	4月		5月		6月		7月		8・9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		時数合計
1年	美術との出会い P 2-4	絵や彫刻との出会い P 10-11	見つめて、感じて、描いて P 12-13 どんなふうを描きたい? P 62 色彩の基本・仕組み P 70-72		なぜか気になる情景 P 16-17	鑑賞との出会い P 9	火焰型土器 P 56-57	デザインや工芸との出会い P 36-37	形や色で伝えるシンボルマーク P 44-45		自然の美しさから生まれた P 52-53	発想・構想の手立て①② P 58-61	文字が生み出すイメージ P 40-43 文字の基本 P 65		暮らしを彩る土の造形 P 50-51 粘土でつくる P 8-69		屏風、美のしかけ P 24-29		つなげて広がる模様の世界 P 38-39		材料に命を吹き込む P 20-21		標準授業時数：45h
	配当時間	1	1	6	6	1	1	1	1	1	4	1	4	6	1	5	6	45					
2年	学びの実感と深まり 上2-4 あなたの美の見つけて 上5-7 教科書の使い方 上8	自由な視点で風景を見つめる 上14-15		日本の伝統色P62 色彩の特徴を深く知る P63	日本の技と心を受け継いで32-35 受け継ぐ伝統と文化 下58		浮世絵っておもしろい 上24-29 北斎の大波 上56	つくる・使う・材料を味わう工芸 上44-45	思いが飛び出すカード 上36-37	瞬間の美しさを形に 上10-11 人物を作る 上56		なんでこれが美術なの? 上22-23 あなたの美を見つけて 上5 岡本太郎「芸術はみんなのもの」上50	ひと目で伝わるみんなのデザイン 上40-41 色彩の特徴を深く知る 上63	動きで伝えるメッセージ P42-43	動画で表現する P52-53		標準授業時数：35h						
	配当時間	1	5	2	5	1	1	3	7	1	6	2	35										
3年	学びの探求と未来 下2-4 社会に生きる美術の力下5-7 教科書の使い方 下8	あの日を忘れない 下24-29	空想の中の不思議な世界 下16-19		受け継ぐ伝統と文化 下58	仏像の姿に見る人々の祈り下32-33 (仏像の種類/美術文化の継承 下56)	自分を表現する色 下38-39	日本の世界文化遺産 下57	わたし自身を見つめて下9-13	さまざまなアートに触れよう 下48-51	魅力を伝えるパッケージ 下40-41 色彩の特徴を深く知る 上63	デザインで地域を豊かに 下44-45		あなたへ 明日への巣立ち 下60		標準授業時数：35h							
	配当時間	1	2	7	1	2	4	1	7	1	3	5	1	35									